



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 栗本鐵工所  
コード番号 5602 URL <http://www.kurimoto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 秀明

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画室長 (氏名) 生越 勝弘

四半期報告書提出予定日 平成27年11月5日 配当支払開始予定日

TEL 06-6538-7719  
平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	43,775	4.3	365	90.8	151	—	481	—
27年3月期第2四半期	41,954	△10.0	191	△90.2	13	△99.1	31	△98.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △252百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 916百万円 (△66.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	3.73	—
27年3月期第2四半期	0.24	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	123,109	49,068	39.5
27年3月期	127,884	49,584	38.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 48,629百万円 27年3月期 49,144百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
28年3月期	—	2.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	6.7	4,000	36.7	3,500	37.1	3,000	87.7	23.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	133,984,908 株	27年3月期	133,984,908 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	4,761,927 株	27年3月期	4,759,431 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	129,223,699 株	27年3月期2Q	129,899,358 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融政策などを背景に円安基調の継続、原油安の影響から、企業収益の向上・雇用情勢の改善など緩やかな回復基調があるものの、中国経済の失速懸念とそれに伴う世界同時株安の進行などにより、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、素形材部門で出荷が増加したことなどにより、売上高は前第2四半期連結累計期間比1,820百万円増収の43,775百万円となりました。

利益面では、素形材部門における増収の影響などにより、営業利益は365百万円(前第2四半期連結累計期間比173百万円増益)、経常利益は151百万円(前第2四半期連結累計期間比138百万円増益)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却益、繰延税金資産の積み増しに伴い法人税等調整額を戻し入れたことにより、481百万円(前第2四半期連結累計期間比450百万円増益)となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

「パイプシステム事業」は、売上高につきましては、鉄管部門において小口径管で出荷が減少した反面、大口径管の出荷が増加したことなどで売上高が増加しました。また、バルブ部門においても出荷が堅調に推移し前第2四半期連結累計期間比348百万円増収の25,209百万円となりました。

営業利益につきましては、バルブ部門で改善されたものの、鉄管部門において小口径管で出荷が減少したことなどで、前第2四半期連結累計期間比115百万円減益の330百万円の営業利益となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、素形材部門を中心に出荷が増加したことなどで、前第2四半期連結累計期間比1,458百万円増収の8,732百万円となりました。

営業利益につきましては、素形材部門を中心とした増収による増益などで、前第2四半期連結累計期間比278百万円増益の140百万円の営業利益となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、建材部門において土木製品、建築製品の出荷が低調に推移した反面、消音製品、空調製品の出荷が増加したことなどで、前第2四半期連結累計期間比13百万円増収の9,833百万円となりました。

営業利益につきましては、建材部門において土木製品、建築製品の減収による減益幅が大きかったことなどで、前第2四半期連結累計期間比191百万円減益の222百万円の営業損失となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品、仕掛品などが増加した反面、現金及び預金、受取手形及び売掛金、投資有価証券などが減少し、前連結会計年度末比4,775百万円減少の123,109百万円となりました。

一方、負債におきましては支払手形及び買掛金、短期借入金などの減少により、前連結会計年度末比4,259百万円減少の74,040百万円となりました。

純資産におきましては、その他有価証券評価差額金の減少などにより、前連結会計年度末比516百万円減少の49,068百万円となりました。

## 《キャッシュ・フローの状況》

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より2,492百万円減少の16,234百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は655百万円となりました。これは売上債権の減少による資金の増加、たな卸資産の増加による資金の減少などによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は447百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出、投資有価証券の売却による収入などによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は2,698百万円となりました。これは主に短期借入金の返済、長期借入金の返済によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月12日に公表いたしました業績予想から変更はありませんが、平成27年8月27日に開示いたしました「確定拠出年金制度の導入に関するお知らせ」の通り今後、開示の必要が認められる場合には、速やかにその影響額等について開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)および  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,776	16,284
受取手形及び売掛金	38,511	33,087
商品及び製品	10,525	12,593
仕掛品	4,933	7,693
原材料及び貯蔵品	2,480	2,448
その他	2,141	2,267
貸倒引当金	△47	△68
流動資産合計	77,320	74,307
固定資産		
有形固定資産		
土地	15,230	15,230
その他(純額)	17,831	17,935
有形固定資産合計	33,061	33,166
無形固定資産		
その他	607	617
無形固定資産合計	607	617
投資その他の資産		
投資有価証券	14,907	12,969
その他	2,305	2,438
貸倒引当金	△318	△388
投資その他の資産合計	16,894	15,018
固定資産合計	50,564	48,802
資産合計	127,884	123,109

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,535	24,842
短期借入金	23,448	21,771
1年内返済予定の長期借入金	2,336	2,298
未払法人税等	218	198
賞与引当金	1,454	1,438
その他の引当金	124	128
その他	5,749	6,094
流動負債合計	59,867	56,772
固定負債		
長期借入金	9,443	8,758
引当金	6	3
退職給付に係る負債	6,819	6,812
その他	2,163	1,693
固定負債合計	18,433	17,268
負債合計	78,300	74,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,959	6,959
利益剰余金	12,563	12,786
自己株式	△1,092	△1,093
株主資本合計	49,616	49,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,949	2,850
繰延ヘッジ損益	△5	2
退職給付に係る調整累計額	△4,416	△4,062
その他の包括利益累計額合計	△472	△1,209
非支配株主持分	439	439
純資産合計	49,584	49,068
負債純資産合計	127,884	123,109

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	41,954	43,775
売上原価	32,279	33,898
売上総利益	9,675	9,877
販売費及び一般管理費	9,483	9,512
営業利益	191	365
営業外収益		
受取配当金	147	115
その他	142	85
営業外収益合計	290	200
営業外費用		
支払利息	201	187
その他	266	226
営業外費用合計	468	414
経常利益	13	151
特別利益		
固定資産売却益	26	—
投資有価証券売却益	—	418
特別利益合計	26	418
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	0	—
投資有価証券評価損	0	4
その他	0	0
特別損失合計	0	4
税金等調整前四半期純利益	39	566
法人税、住民税及び事業税	62	108
法人税等調整額	△76	△27
法人税等合計	△13	80
四半期純利益	53	486
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	31	481

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	53	486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	504	△1,098
繰延ヘッジ損益	—	7
退職給付に係る調整額	359	353
その他の包括利益合計	863	△738
四半期包括利益	916	△252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	894	△256
非支配株主に係る四半期包括利益	22	4

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	39	566
減価償却費	1,160	1,217
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△139	91
受取利息及び受取配当金	△153	△118
支払利息	201	187
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△26	—
売上債権の増減額(△は増加)	7,112	6,170
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,084	△4,797
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,512	△1,662
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	335	346
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	0	4
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	—	△418
有形及び無形固定資産除却損	8	8
その他	△979	△831
小計	1,962	763
利息及び配当金の受取額	231	196
利息の支払額	△205	△175
法人税等の支払額	△106	△129
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,883	655
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△6	△243
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	—	1,031
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,600	△1,168
有形及び無形固定資産の売却による収入	36	0
有形固定資産の売却に伴う支出	△598	—
貸付けによる支出	△7	△21
貸付金の回収による収入	0	6
その他	△111	△53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,287	△447
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,730	△1,677
長期借入れによる収入	—	500
長期借入金の返済による支出	△1,172	△1,223
リース債務の返済による支出	△37	△33
自己株式の取得による支出	△700	△0
配当金の支払額	△264	△258
非支配株主への配当金の支払額	△1	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,906	△2,698
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,286	△2,492
現金及び現金同等物の期首残高	24,577	18,726
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	175	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,466	16,234

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パイプ システム事業	機械 システム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,860	7,274	9,819	41,954	—	41,954
セグメント間の内部売上高 又は振替高	118	—	340	458	△458	—
計	24,978	7,274	10,160	42,413	△458	41,954
セグメント利益又は セグメント損失(△)	445	△138	△31	275	△83	191

注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△83百万円には、セグメント間取引消去18百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額14百万円及び棚卸資産の調整額△116百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パイプ システム事業	機械 システム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	25,209	8,732	9,833	43,775	—	43,775
セグメント間の内部売上高 又は振替高	99	—	186	285	△285	—
計	25,308	8,732	10,019	44,061	△285	43,775
セグメント利益又は セグメント損失(△)	330	140	△222	247	117	365

注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額117百万円には、セグメント間取引消去17百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額24百万円及び棚卸資産の調整額75百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。